

平成30年広島県食中毒発生状況(広島県合計)

病因物質	総数		集団		散発	
	事件	患者	事件	患者	事件	患者
ノロウイルス	8	664	6	656	2	8
カンピロバクター・ジェジュニ/コリ	3	9			3	9
黄色ブドウ球菌	1	30	1	30		
腸炎ビブリオ						
サルモネラ属菌	1	67	1	67		
ウエルシュ菌	1	19	1	19		
腸管出血性大腸菌						
その他の病原大腸菌						
動物性自然毒	1	1			1	1
植物性自然毒						
寄生虫	3	3			3	3
その他						
不明(調査中を含む)	4	9			4	9
合計	22	802	9	772	13	30

※カンピロバクターは、生肉、内臓、肉汁に付着している菌です。  
食肉の生食は避け、十分に加熱することが大切です。